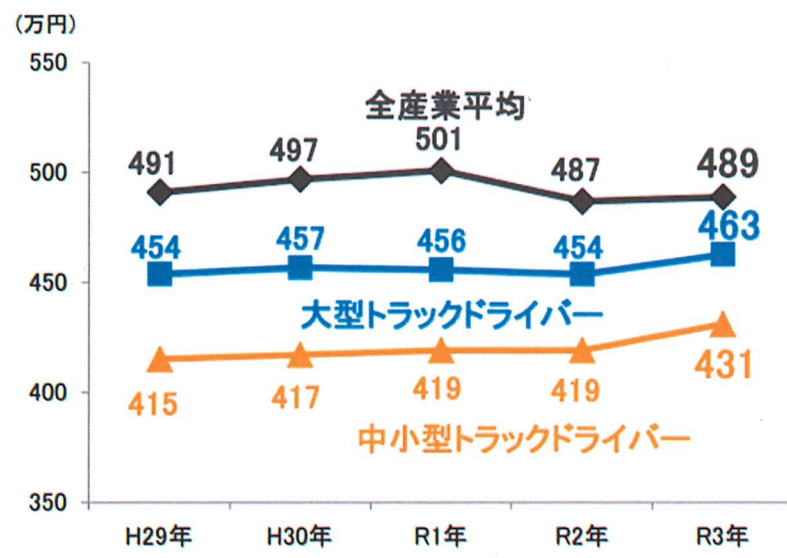


トラックドライバーの賃金・労働時間

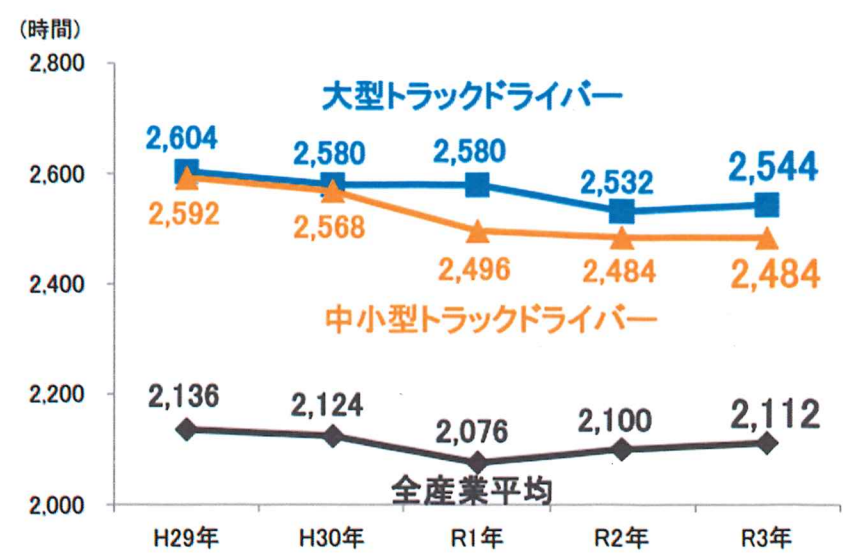
【年間所得額の推移】

トラックドライバーの年間所得額は、全産業平均と比較して、大型トラック運転者で約5%低く、中小型トラック運転者で約12%低い。



【年間労働時間の推移】

トラックドライバーの年間労働時間は、全産業平均と比較して、大型トラック運転者で432時間(月36時間)長く、中小型トラック運転者で384時間(月32時間)長い。



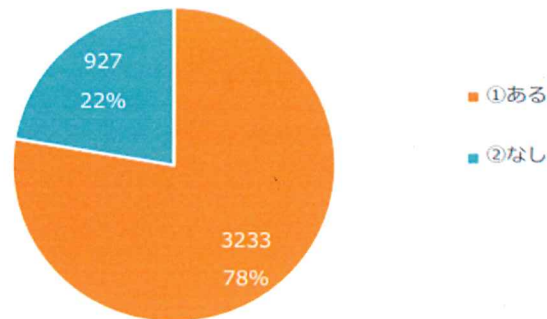
資料: 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

ドライバー不足を解消するためには、全産業平均の労働時間、賃金にすることが求められる

①トラック事業者向けアンケート (3) 下請事業者の受注状況

- 「他のトラック事業者からの依頼を受けるケースがあるか」という問では、「ある」と回答した事業者が8割を占める。
- 「ある」と回答した事業者のうち、約半数の事業者が更に他の事業者へ委託している。

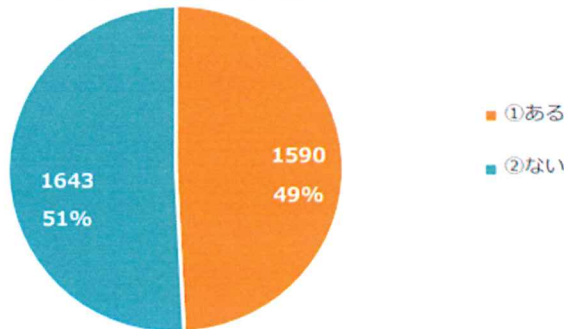
他社からの運送依頼への対応状況



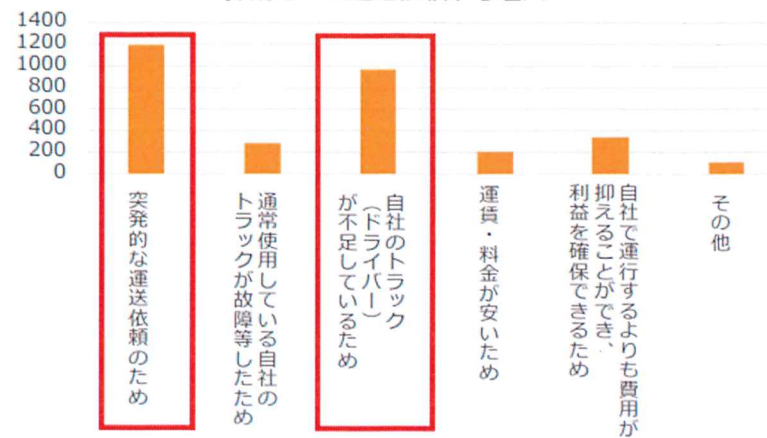
他社からの運送依頼がある際の依頼主



孫請けへの運送依頼



孫請けへの運送依頼する理由



出典：第9回 持続可能な物流の実現に向けた検討会「トラック輸送における多重下請構造についての実態把握調査に係る調査結果」
経済産業省・国土交通省・農林水産省 提出資料

表1-2-2 脳・心臓疾患の支給決定件数の多い業種(中分類の上位15業種)

			令和3年度
	業種(大分類)	業種(中分類)	支給決定件数
1	運輸業, 郵便業	道路貨物運送業	56 (1) < 20 (0) >
2	建設業	総合工事業	11 (0) < 2 (0) >
3	サービス業(他に分類されないもの)	その他の事業サービス業	9 (1) < 3 (0) >
4	卸売業, 小売業	その他の小売業	6 (1) < 3 (1) >
5	医療, 福祉	医療業	5 (2) < 1 (0) >
5	宿泊業, 飲食サービス業	飲食店	5 (0) < 2 (0) >
5	製造業	輸送用機械器具製造業	5 (0) < 1 (0) >
8	卸売業, 小売業	各種商品小売業	4 (1) < 0 (0) >
8	卸売業, 小売業	飲食料品小売業	4 (0) < 1 (0) >
8	建設業	職別工事業(設備工事業を除く)	4 (0) < 2 (0) >
8	生活関連サービス業, 娯楽業	娯楽業	4 (0) < 1 (0) >
8	製造業	金属製品製造業	4 (0) < 3 (0) >
13	卸売業, 小売業	機械器具小売業	3 (0) < 2 (0) >
13	学術研究, 専門・技術サービス業	専門サービス業(他に分類されないもの)	3 (0) < 0 (0) >
13	情報通信業	情報サービス業	3 (2) < 0 (0) >

注 1 業種については、「日本標準産業分類」により分類している。
 2 ()内は女性の件数で、内数である。
 3 < >内は死亡の件数で、内数である。

表1-3-2 脳・心臓疾患の支給決定件数の多い職種(中分類の上位15職種)

			令和3年度
	職種(大分類)	職種(中分類)	支給決定件数
1	輸送・機械運転従事者	自動車運転従事者	53 (0) < 17 (0) >
2	管理的職業従事者	法人・団体管理職員	15 (0) < 6 (0) >
3	専門的・技術的職業従事者	建築・土木・測量技術者	11 (0) < 3 (0) >
3	販売従事者	営業職業従事者	11 (0) < 2 (0) >
5	販売従事者	商品販売従事者	7 (1) < 1 (0) >
5	保安職業従事者	その他の保安職業従事者	7 (0) < 3 (0) >
7	運搬・清掃・包装等従事者	運搬従事者	5 (0) < 1 (0) >
7	サービス職業従事者	飲食物調理従事者	5 (1) < 3 (0) >
7	サービス職業従事者	接客・給仕職業従事者	5 (0) < 1 (0) >
7	生産工程従事者	製品製造・加工処理従事者(金属製品を除く)	5 (0) < 2 (0) >
7	専門的・技術的職業従事者	情報処理・通信技術者	5 (2) < 1 (0) >
12	運搬・清掃・包装等従事者	清掃従事者	4 (1) < 0 (0) >
12	事務従事者	一般事務従事者	4 (0) < 1 (0) >
12	専門的・技術的職業従事者	医師, 歯科医師, 獣医師, 薬剤師	4 (0) < 2 (0) >
15	管理的職業従事者	法人・団体役員	3 (0) < 1 (0) >
15	建設・採掘従事者	建設従事者(建設躯体工事従事者を除く)	3 (0) < 0 (0) >

注 1 職種については、「日本標準職業分類」により分類している。
 2 ()内は女性の件数で、内数である。
 3 < >内は死亡の件数で、内数である。